

「インクルーシブな交通政策」に係るコーディネーター育成事業

応募様式A

福岡県古賀市

事業の基礎情報

事業実施地域	福岡県古賀市
人材育成の対象	福岡県古賀市に所在する市内交通事業者、福祉団体関係者及び自治体職員等
人材育成の手法	当事者ヒアリング、データ分析・地域公共交通に係る講義やワークショップ及び交通政策立案コンペの実施
人材育成の内容	各種データ分析の技術、交通政策を立てる上で必要な知識を身に付け、学生、高齢者及び障がい者等に寄り添ったインクルーシブな地域公共交通の在り方について検討を促し・コーディネートできる人材を育成する。
想定育成人数	30人

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

古賀市では、住民の高齢化により公共交通機関の需要が高まる一方で、運転手の不足や、乗車人数の減少による市の財政負担の増大により、路線バスの減便が行われる等、その維持・確保は困難になりつつある。加えて、2025年には大規模な工場の建設完了も見込まれており、従業員の交通手段の確保のため、公共交通の再編が必要である。

本事業では、「交通弱者」である学生・高齢者・障がい者等にとって、利便性が高く、需要側・供給側共に持続可能な料金体系で、交通事業者と共存共栄が可能となる地域公共交通のコーディネート人材を育成し、「インクルーシブな交通政策」の推進を目的とする。

（事業の概要）

古賀市、市内交通事業者及び全国自治体ライドシェア連絡協議会（以下「全自連」という。）等から提供されるデータを素材として用い、データ分析・解析の手法を身に付けるための講義及びワークショップを行う。全国の事例を活用しながらケーススタディを行い実践力を身に付け、最終回では「インクルーシブな交通政策コンペ（仮称）」を行う。本事業を通じて得られた知見や交通政策案については動画及びテキスト等で取りまとめ、連携団体のサイト及び広報誌等に掲載し、古賀市および福岡県内、全国に向けて機運醸成・普及啓発を図る。

「インクルーシブな交通政策」に係るコーディネーター育成事業

応募様式A

福岡県古賀市

取組の詳細

（事業により見込まれる効果）

- これまで交通政策と無関係と思っていた市民の当事者意識・意識改革を促し、市内外における交通政策分野の機運を醸成する。
- 受講者は、本事業を通じて、地域公共交通の課題と向き合うために必要な技術や知見を身に付け、それらを生かした交通政策を自ら立案する機会を得ることで、即戦力のあるコーディネーターに成長する（想定育成人数：30人）。
- 本事業の受講者（修了者）に対し、全自連が「インクルーシブ交通政策コーディネーター（仮称）」の認定を行うことで、本事業で得た知見を証明することができ、今後の活躍の場を広げることができる（「インクルーシブ交通政策コーディネーター（仮称）」認定者数：10人）。

（事業実施手順・スケジュール）

- ① 古賀市、市内交通事業者及び全自連等から提供されるデータを素材として活用し、データ分析・解析の手法を習得する講義及びワークショップを開催する。
- ② 法令通達・地域公共交通のR・デザインに必要な知見に関する講義を実施する。
- ③ 「交通弱者」と呼ばれる学生・高齢者・障がい者等へのヒアリングを実施し課題を把握、上記①のデータ分析手法及び上記②の必要な知見を生かしながら、具体的な交通政策を立案する。
- ④ 「インクルーシブな交通政策コンペ（仮称）」を開催し（審査員として当事者及び外部有識者等を招聘）、上記③の交通政策の中で評価点の高い内容については表彰・公表する。
- ⑤ 本事業を通じて得られた知見等については、動画及びテキスト等で取りまとめ、連携団体のサイト及び広報誌等に掲載し、古賀市及び全国に向けて機運醸成・普及啓発を図る。

（12月）
公共交通政策に必要な知識を身につける講義



（1月）
交通政策立案ワークショップ・コンペ実施



（2月）
サイト等掲載

（補助事業実施後の予定）

- 本事業で認定された「インクルーシブ交通政策コーディネーター（仮称）」が全国の地で活躍できるよう、令和7年度は、全自連主催の自治体とのマッチングやセミナー講師としての機会を創出する。
- 古賀市及び県内市町村へコーディネーター派遣等を積極的に行うことで、広域的な交通問題解決につながる流れを作る。